



## COMPANY PROFILE

【企業理念】

わたしたちは確かな

ものづくりを通して

豊かな社会の実現に

貢献します

【行動指針】

1

信頼を築く

【行動指針】

2

技を磨き  
伝える

【行動指針】

3

夢をいただき  
挑戦する



これまでも、  
これからも「この道の先」を  
目指し歩み続けます。

当社は1934年の設立以来、一貫して「道」づくりに携わって参りました。「道」をつくることは、大地を結びつけ、様々な文化、文明の伝承に寄与し、皆様の生活の可能性を大きく広げる仕事と考えて、業務に邁進して参りました。

現在、当社は基幹事業である舗装土木事業を中心に、アスファルト合材の製造販売事業、建築事業、海外事業、不動産開発事業を柱とし、社会や経済の発展に向け、それぞれの事業分野を展開しております。いずれの分野においても、「道」づくりで培った歴史と情熱の下、常に新しい可能性を夢見て努力を続け、新技術・自主技術の開発、実用化に挑戦し続けております。このパンフレットを通して、当社の想いの一端がお伝えできれば幸甚でございます。

これからも、当社は皆様の信頼に応える企業として、「この道の先」を目指し歩み続けます。

株式会社 NIPPO 代表取締役社長

和田 千弘

# NIPPO'S 4 SEGMENTS

## 豊かな社会を実現する NIPPOの4つの事業領域

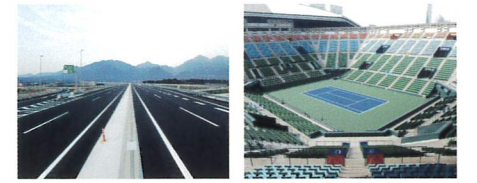
私たち NIPPO は、アスファルト舗装工事を中心とする舗装・土木工事、および、アスファルト舗装の材料であるアスファルト合材の製造・販売を中核事業としています。

さらに、オフィスビルや工場などの建築工事、都市型マンションの分譲や、市街地再開発等の開発（不動産）事業、土壌浄化事業、海外事業といった戦略事業に取り組み、事業基盤を強化しています。



### P.6 建設事業

- 舗装土木事業
- 一般土木事業
- 建築事業



### P.12 製造・販売事業

- 全国ネットワーク
- 製品紹介
- アスファルト合材のリサイクル



### P.14 海外事業

- アスファルト合材事業
- 海外テストコース
- ODA (政府開発援助)



### P.16 開発事業

- マンション分譲事業
- 不動産賃貸事業
- 再開発事業
- 物流施設事業



### P.18 取り組み

- 技術基盤
- CSR活動
- グループネットワーク



## 建設事業

[舗装土木事業]

# 「心をつなぐ道づくり」

街・人をつなぎ、心をつなぐ快適な「道」づくりを目指して。

多くの人々が毎日歩き、通っている「道」。私たちNIPPOは、「道」は心をつなぐための一つのツールであると考えています。ドライブ中の楽しい会話、商店街などで買い物をする際に行われる一つひとつのやりとりも、確かな足元、つまり、安全で快適な「道」があるからこそできること。NIPPOは安心して通行できる「道」を提供することで、人々の日常生活を支え、会話、そして、心をつないでいます。

心をつなぐ道づくり。そのために、私たちは、周辺環境、街並み、歴史などの情報を取り込み、「道」をその空間の中に溶け込ませるための多彩な技術を駆使しています。

また、私たちは、電気自動車や自動運転など、日進月歩の自動車産業を支えるため、これまでに培われてきた「技」をさらに磨いて、テストコースの建設を行い、数多くの新しい車両がそこから羽ばたいていく姿を見てきました。

「道」は、何度も何度も舗装を積み重ねて造っていきます。このような作業は、人と人が心を通わせ信頼関係を築いていくことに通じています。NIPPOは、どの舗装現場においても、今日の舗装が過去最高の舗装となるよう挑戦を続け、一つひとつたゆまぬ努力を積み重ねることによって、心をつなぐ「道」を生み出していきます。

## BUSINESS FIELD

### インフラ

生活の基礎となる道路づくりのための確かな舗装技術

都市と都市を結ぶ高速道路、その建設には多大な時間と、実績に裏づけられた技術が必要です。高速道路には、単に物流の車両だけでなく、緊急車両が走行することも求められています。その要求性能を満たす舗装を、これまでに培われた技術を結集して行っています。



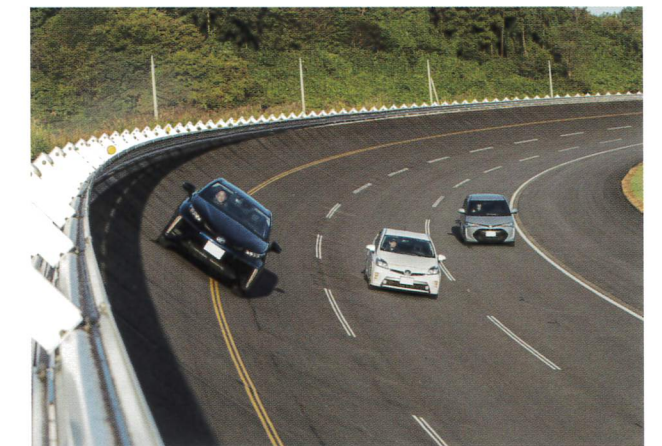
新名神高速道路 孤野舗装工事(孤野IC付近)

【主な施工場所】 高速道路、一般道路、空港

### テストコース/サーキット

依頼された要求性能を満たし、安全性を確保した舗装の設計・施工

自動車業界では、日々さまざまな新技術が生み出されています。その技術の実証実験の場となるテストコース。NIPPOでは、高速走行における振動や騒音、すべり対策、登坂能力などを試すそうした施設における走路の建設、および、各地のサーキットコースの設計・施工を数多く手がけています。



(一財)日本自動車研究所 高速周回路

【主な施工場所】 テストコース、全国のサーキットなど

### 景観/街路

人々の暮らしと調和した舗装技術

ショッピングや飲食店街などを散策する楽しいひととき。そんなシーンの足元も、私たちの舗装技術が支えています。ブロック舗装、ブロック状の模様で趣を出すパターンドペーブ、平板ブロックのような風合いを持つグラベルポリシールなど、街並みにあった景観舗装を、多彩な技術で演出しています。



水木しげるロード(鳥取県境港市) ©水木プロダクション

【主な施工場所】 商店街、各種テーマパーク、住宅街など

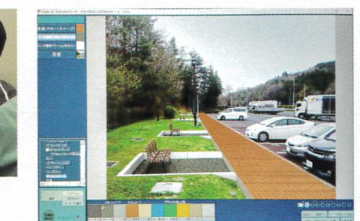
### 景観デザインシステム HIGINS-RJ

周辺空間と調和する舗装デザインを設計するシステム

さまざまな舗装商品を現地写真に当てはめることで、完成イメージを共有し、周辺住民との合意形成をスムーズにするシステム。パソコンなどにより、色やデザインを変えた複数の完成イメージを表示・比較できます。空間診断技術により、街並みに調和した舗装デザインの提案も可能です。



シミュレート作業状況



シミュレート事例(東北自動車道阿武隈PA(上り))

## 地球を守る土壌浄化技術

土木工事については、ICT技術を活用した大規模土工により、新たな街づくりのための宅地造成などを手がけています。この事業分野では、地盤改良工事、擁壁などの安定計算といったことも的確に行うことで、お客様のご要望に沿った土木構築物をご提供しています。

また、ガソリンスタンドの跡地に残る残油処理から始まった土壌浄化技術については、現在、クリーニング店で使われている薬剤の処理技術に応用し、展開中です。宅地造成から、街のクリーニング店まで、さまざまな分野の期待に応える独自の技術で、「心をつなぐ道」のある、魅力的な街づくりに貢献していきます。

### 土木工事

#### 防災調整池工事

防災調整池は、工業団地用地の造成によって雨水の流出量が多くなるので、下流への影響を防ぐために、本体の造成工事に先立って設置されます。土木構築物としては、雨水を貯める池の部分と、下流に安全な量の水を流すための放流施設があり、造成工事と合わせて手がけています。



三島三ツ谷工業団地敷地造成工事(静岡県)

#### 工業団地造成工事

自然の地形を生かしながら進めていく造成工事では、まず、現地の状況に応じた土壌の強度改良や、沈下対策などを計画。工事は、その計画に基づき、安全と環境に配慮しながら進めます。求められる品質確保のために、これまで深めてきた知識と技術を生かし、計画から調査、施工まで、総合的にサポートします。



市原市海保地区開発造成工事(千葉県)

## 感動が生まれるスポーツ施設の建設

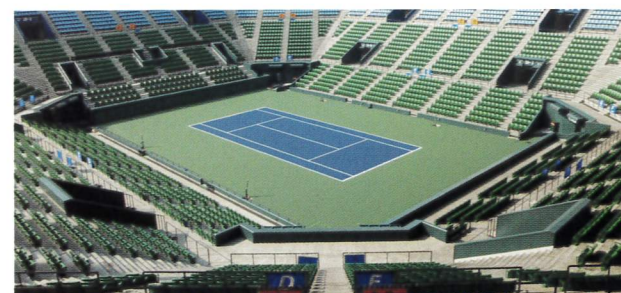
スポーツ施設の建設も「道」づくりの一つです。人が歩く・走るところには、私たちNIPPOの技術が数多く用いられています。たとえば、テニスコート。私たちは、足に優しく、プレイしやすいユーザーフレンドリーなコートの建設に全力を尽くしています。陸上競技場やサッカー、野球場などの各種グラウンドも、イレギュラーしない地盤づくりを心がけ、日頃の練習成果を思う存分発揮できるように建設しています。

一方、これらのスポーツ施設においては、使い心地だけでなく、これまで数多くの施設を建設した経験やノウハウをもとに、維持管理のしやすさもふまえた提案・建設を行っています。

### テニスコート

足に優しく最高のプレイを発揮できるコートづくり

テニスコートは、「道」づくりのノウハウが凝縮された「究極の道」です。イレギュラーしない平らなコート、規格を満たす勾配、適度にバウンドするクッション性、そして、見やすい色や、壊れにくいサーフェイス。繊細な仕上がりを求められるそうした建設を、私たちは数多く手がけています。



有明テニスの森センターコート(東京都)

### 陸上競技場

「1秒でも早く、1cmでも速くへ」をかなえるトラック

陸上競技場は、日頃の成果以上の記録を出すべく多くの選手たちが集う場所。その期待に応えられるフィールド&トラックづくりが、私たちNIPPOの役目です。力強い蹴りや着地、踏ん張りなどに耐えられる表層をつくることで、ベストな記録を打ち出せる、選手にとって頼もしい足元をご提供しています。



佐久市総合運動公園補助競技場(長野県)

### グラウンド

日頃の練習成果を十分に発揮できるピッチを提供

日頃の練習成果で勝ち負けが左右するサッカー、野球など、フィールド競技の施設建設にあたっては、競技規格を十分に満たしたピッチを建設し、提供しています。天然芝、人工芝など、さまざまな表層へ対応する基盤舗装においても、ICT舗装技術を基本とし、これまでに培ってきた舗装技術を活用しています。



成城学園(東京都)

### 競馬場

公正な競馬の舞台となる馬場づくり

競馬場のコース整備では、排水性を考慮した路盤の構築、効率的な芝の張り替えなど、丁寧な作業を求められます。整備後の競馬場において、感動的なレースが行われるように、かつ、サラブレッドの脚への負担を軽減するため、適度にクッションの効いた安全な馬場を提供しています。



JRA 中山競馬場

### [一般土木事業] 土壌・地下水浄化

マイクロバブル、オゾン、スパーキングの3つの効果で浄化

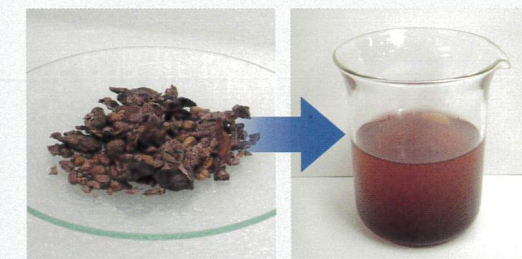
これまで、油やベンゼンなどで汚染された土壌を無害化するには、大きな労力と、大規模な施設が必要でした。NIPPOでは、簡易な設備でマイクロバブル化したオゾンと圧縮空気を同時にスパーキング(注入)し、汚染物質を効率良く分解・回収する浄化工法を展開しています。



### GRM バイオ工法

ワインの搾りかすを利用した土壌浄化技術

街のクリーニング店や化学薬品工場などで用いられているVOC(揮発性有機塩素化合物)。その化学物質が浸透した土壌を分解・無害化することが全国各地で求められています。NIPPOでは、ワイン製造時に発生する搾りかすを利用して、VOCを分解する薬剤「GRM(グレープサイクリンマテリアル)」を開発、展開しています。



ワインの搾りかす

GRM(グレープサイクリンマテリアル)

## 建設事業

[建築事業]

# 「人知と大地の融合」

その時代、その地域にあった夢のある未来を創造したい。

私たち NIPPO は、1983年から本格的に建築事業に取り組み、多彩な建築を手がけ、お客様のさまざまなニーズと施工環境に対応し、技術を蓄積してきました。設計から施工、アフターサービス、修繕、メンテナンスまで、一貫した体制を確立し、今日では、お客様から確固たる信頼を得ています。

設計段階では、3DCADの導入によりお客様ニーズを具現化しつつ、建築環境総合性能評価システ

ムを利用した、環境配慮設計に取り組んでいます。施工段階では、「確かなものづくり」を企業理念に掲げ、お客様に安心して使っていただける品質を確保するとともに、環境・安全に配慮した施工に取り組んでいます。

これからも、これまで培ってきた地域社会とのつながりを活かし、環境に配慮した、最良の建築物をカタチにしていきます。

NIPPO本社ビル(自社設計・施工)

## BUSINESS FIELD

### 商業施設

社会と共栄を図る快適な環境の創造

商業施設の建設では、大規模店舗やスポーツ施設、自動車ディーラーなど、幅広いジャンルで実績を積み重ねてきました。特に、JXTGグループのサービスステーションは、全国での施工実績が数多くあります。そこで得たノウハウを活かし、近年では、水素ステーションの設計・施工を手がけています。



ENEOS 水素ステーション(神奈川県)

### 公共施設

環境・安全に配慮した豊かな社会の実現への貢献

NIPPOでは、官庁関係の庁舎、学校、警察署など、公共施設の建設でも、多くの実績を積み重ねています。また、PFI事業にも取り組み、公務員宿舎や市営住宅の施工、さらには、国内の米軍基地内にある学校の新築、住宅・店舗の改修など、さまざまな建設に携わっています。



九州産業高等学校体育館(福岡県)

### 工場・倉庫

お客様のニーズに合わせた施設の提供

舗装事業で築き上げたお客様との信頼関係を活かし、製造業を中心とした工場・倉庫の建設でも、数々の成果を上げてきました。特に、冷凍・冷蔵倉庫の施工は、お客様から高い評価をいただいています。また、この分野では、改修工事・耐震補強工事の設計・施工においても多くの実績があります。



カヤバ株式会社相模工場(神奈川県)

### オフィス

安心して快適に過ごせるオフィス空間の実現

環境への負荷軽減、省エネルギーといったカーボンニュートラルに貢献する環境配慮設計や、事業継続のための耐震設計に取り組んでいます。安全性・快適性および機能性を追求し、さまざまなニーズに対応したオフィスを提供いたします。



ショーボンド建設株式会社北日本支社(宮城県)

建設事業

製造・販売事業

海外事業

開発事業

取り組み

## BUSINESS FIELD

### 全国に155カ所の生産拠点

「確かなものづくり」を通して

私たちNIPPOは、全国各地に事業所を展開しており、それぞれの事業所で、長年の経験に裏づけられた、確かな品質の製品をお届けしています。また、駐車場や高速道路、空港、スポーツ施設、公園など、さまざまな場所で、幅広く社会インフラの整備を行っています。



【主な新工場】山木戸合材工場、福岡合材工場、京葉合材工場、他

### 種類豊富な製品群

手軽に舗装を行うために

アスファルト合材工場では、加熱アスファルト合材だけでなく、道路に関する商品などを多数販売しています。特に、アスファルト常温合材については、庭先の舗装から、一般道路、および、ダンプトラックが頻繁に通行する道路の補修まで、多彩なラインナップを取り揃えています。

#### 中温化アスファルト混合物 エコファイブ

特殊添加剤「フォームセット」を用いて、製造時の混合性や舗装時の締固め性を向上させたアスファルト混合物です。通常と同等の作業性で製造温度を約30℃下げる場合(中温化)と、製造温度を下げずに高い作業性の混合物とする場合(施工性改善)とがあります。



#### 重交通対応・常温合材 凹道埋たるう(あなみちうめたるう)

天候に関わらず高い耐久性を有し、重交通路線でも十分な強度を発揮する常温合材が誕生しました。使用方法は、袋を開いて凹みに均してタイヤなどで転圧するだけ。簡単・迅速に路面の補修が行えます。



弊社WEBサイトにて、その他の製品情報もご紹介しております。

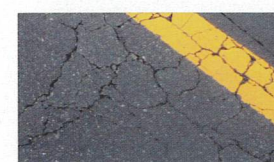
### 地球環境に配慮したリサイクル

アスファルト合材工場の環境配慮

NIPPOでは、1970年代前半から、当時としては珍しい「アスファルト舗装リサイクル技術」の研究に取り組み、現在では、技術やシステムをほぼ確立して、全国に展開しています。アスファルトやコンクリートのがれき(建設副産物)を受け入れ、骨材として再利用し、再生合材、再生路盤材として製造・販売しています。また、アスファルト合材の製造に伴って生じる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を削減するため、燃料を重油類から都市ガスや灯油などへ徐々に切り替え、省エネルギー型の設備や機器類も積極的に配備しています。

アスファルト塊の  
再資源化率

98%  
以上



傷んだ舗装



切削機等で舗装を撤去



アスファルト合材工場内に集積



破砕機で細かく砕き大きさを整える



舗装完了



舗装工事に使用



再生路盤材・再生加熱アスファルト合材として出荷



サイズごとに分級し貯蔵

製造・販売  
事業

## 「全国に広がる生産拠点」

社会資本の構築の土台を支える舗装技術に誇りを持って。

道路は社会インフラの屋台骨であり、道路づくりの要はアスファルト合材です。私たちNIPPOは、アスファルト合材を国土の津々浦々まで供給できるよう生産拠点を全国に配し、わが国のインフラ整備に貢献しています。

道路は車が安全でスムーズに走行できれば良いという時代から、人や環境に優しいことも求められる時代になってきました。水跳ねしない舗装や、騒音の小さな舗装、CO<sub>2</sub>の少ない舗装など、世の中のニーズは多種多様になってきています。NIPPO

の工場では、お客様のすべてのご要望にお応えできるように、豊富な種類の製品を取り揃え、安全で豊かな社会構築に寄与しています。

また、資源の有効利用のために、古くなった舗装をアスファルト合材として蘇らせるリサイクル事業に、1970年代前半から取り組んでいます。現在では、長年の技術を積み上げたリサイクルシステムを全国的に展開し、すべての工場でリサイクル材料を使うなど、循環型社会への取り組みを、積極的に行っています。

# 「確かな技術の世界へ」

日本で培った確かな技術の世界に届ける。

私たちNIPPOは、確かなものづくりを通して、豊かな日本社会の実現に貢献してきました。海外事業では、その長く日本で培ってきた技術を活かし、世界各国で豊かな社会の実現に向けて取り組んでいます。

東南アジア地域におけるアスファルト合材事業では、現地企業とパートナーシップを組み、その地に最も適した管理体制で品質の向上に努めながら、各国に根差した合材事業を展開しています。このような分野では、循環型社会の到来に向け、再生アスファルト合材の普及にも取り組んでいます。

また、世界中でモータリゼーションが進む自動車業界においては、きわめて高い品質と精度が要求される、テストコースの建設が必要とされています。長年の経験と独自のノウハウを活かし、世界各国のいかなる厳しい施工環境にあっても、日本と同じ品質のコースを作り上げ、自動車研究開発の基礎を支えています。

このように、世界に広がるNIPPOの技術。ODA（政府開発援助）の工事では、現地の人々と協働し、日本の技術を移転しながら、社会インフラの構築・整備に取り組み、途上国の発展に寄与しています。



## BUSINESS FIELD

### アスファルト合材事業

現地に根差した合材製造と販売

東南アジア地域で展開している、アスファルト合材事業。現地企業とパートナーシップを組み、これまでに培ってきた経験・知識・ノウハウを活かしながら、地元企業として、現地に根差した合材製造と販売を行っています。来たるべき循環型社会を見据え、再生合材アスファルトの普及にも取り組んでいます。



【拠点】タイ、ベトナム

### 海外テストコース

自動車研究開発の基礎を支える高度な舗装技術

自動車研究開発に欠かすことのできないテストコース。一般道路とは大きく異なる、その目的と特殊性から、きわめて高度な仕様と精度を要求されます。私たちは、各国のいかなる厳しい施工環境にあっても、その要求レベルを達成し、日本と同じ品質のテストコースを提供し続けています。



【施工実績】アメリカ、中国、タイ、インドなど

### ODA（政府開発援助）

開発途上地域の発展を支える道路整備に寄与

開発途上地域の発展に欠かすことのできない社会インフラの整備。その中でも道路は、人々の日常生活と物流に密接に関わるものです。私たちは現地の人々と協力し、絆を強めながら、各国の発展に寄与する道路づくりに取り組んでいます。



【施工実績】タンザニア連合共和国：第二次ニューバガモヨ道路拡幅計画  
マラウイ共和国：ブランタイヤ市道路網整備計画（第二次）  
ケニア共和国：ナイロビ西部環状道路建設計画

海外拠点

6ヶ国

海外実績

30ヶ国以上

## 開発事業

[不動産開発事業]

# 「街をつくる、人がつどう」

地域特性を活かした新たな街づくりを目指して。

開発事業では、分譲マンション事業、不動産賃貸事業、再開発事業、物流施設事業など、さまざまな不動産開発事業を、全国的に展開しています。そうした事業を行うにあたっては、時代の一步先を見つめながら、エンドユーザーの立場で、「安らかさ」「心地よさ」「豊かさ」の創造を追求。価値のある商品企画を通じて、環境に配慮した、安心・安全な

住まいの創造を目指していきます。

このようなポリシーのもと、私たちNIPPOは、地域特性を活かし、未来を見据え、敷地分析・建物計画を吟味した、ユーザー本位の不動産開発に取り組み、次世代へと受け継がれる豊かな資産価値の実現に貢献しています。

グランクロスタワー広島(広島県広島市)

## BUSINESS FIELD

### | マンション分譲事業

豊かな住まいを創造するル・サンクシリーズ

NIPPOが展開する、「ル・サンク(Le Cinq)シリーズ」では、Access・Nature・Space・Location・Securityの5つの価値を重視。地域の特徴や文化・環境を生かした豊かな住まいづくりを目指しています。



ル・サンク東京森下(東京都墨田区)

### | 不動産賃貸事業

快適な空間を創造するアーバスシリーズ

商業施設、オフィスビル、賃貸マンションなど、さまざまな賃貸事業に取り組み、「アーバスシリーズ」として展開しています。このシリーズでは、快適さを基本に、「動くため」、「住むため」、「生活するため」の空間を創造していきます。



アーバス天満橋(大阪府大阪市)

### | 再開発事業

地域の方々と一体となった街づくり

市街地再開発事業に組合員として参加するほか、さまざまな事業手法を活用した再開発事業に取り組んでいます。地域の方々と一体となり、その地域が目指す、活力あふれる豊かな街づくりを進めていきます。



大崎駅西口南地区(参加組合員・住宅 東京都品川区)

### | 物流施設事業

物流の効率化を実現する施設づくり

不動産開発における新規事業の一環として、立地や機能のニーズに対応するマルチテナント型物流施設の開発に、他社と共同で取り組んでいます。環境への配慮と事業の継続性・効率性を実現する施設づくりを推進中です。



ロジポート名古屋(共同開発事業 愛知県名古屋市)

## 研究開発による 未来の「道」づくりを目指して

研究所・試験所は1936年の組織設立以来、「夢」を抱き続け、新しい舗装を開発すべく、さまざまな挑戦を続けてきたNIPPOの機関です。設立当初は、今日のような道路網は、文字どおり「夢」でした。そう、今から50年後には、車が空を飛んでいるかもしれません。NIPPOは、そうした未来の「道」を想像しながら、新しい舗装技術を創造しています。

神宮外苑のワービット舗装、1964年の東京オリンピック前に開通した名神高速道路の舗装、バス停やトラックなどの駐・停車スペースに適用する半たわみ性舗装、水を舗装体内へ導き、空隙で騒音を低減する排水性舗装、居眠り運転による事故を未然に防ぐためのランブルストリップス、そして、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装、死角エリアの人や物を検知し自動停止する装置など、NIPPOが開発した舗装技術は、現在も日本各地の道路に用いられています。

これらの技術や工法開発は、一朝一夕でできるものではありません。創立以来伝えられてきた「技」をさらに磨き、次の世代へ継承する。そのためには、まず、舗装の原点を見直すことが必要であると、私たちは考えています。

これからも、研究・開発部門は、先人たちの技を伝えつつ、「夢」を抱き、未来の「道」づくりに挑んでいきます。



技術基盤

# 新しい未来の「道」のために

## 研究開発 Research & Development

NIPPOでは、研究機関を集約した総合技術センター(さいたま市)が、「確かなモノづくり」の中核施設としての役割を担っています。このセンターにおいて、機械・工法の開発、材料の開発といった2つの研究開発部門が連携しながら、「現場で使える技術」の開発を行っています。

### ロードスキャン

レーザーを用いた先端技術で路面性状測定

舗装を適切に維持管理するには、路面性状を定量的に評価することが必要です。ロードスキャンは、従来の路面性状のひび割れ、わだち掘れ、平坦性のほか、乗り心地に関連づけられる国際的指標のIRI (International Roughness Index) を、非接触で同時に走りながら測定します。また、データ解析においては、自動解析により迅速化を図っています。



### ICT施工

高精度な施工と効率的な管理

ICT施工は、3次元設計データと先端測量機器を使用して、施工機械を自動制御し、高精度な施工を実現するシステムで、機械を操作する技術者の力量を問わず、これまで以上の出来形を提供することができます。NIPPOは、あらゆる施工機械の自動制御技術を保有しており、舗装工事におけるさまざまな工種への対応が可能です。



## 環境技術 Environmental technology

地球環境を次世代へつなぐ「道」づくりとして、環境対策技術の開発にも力を注いでいます。下記の環境技術だけでなく、自然を活かす舗装技術の開発や展開も行うことで、豊かな社会の実現に貢献していきます。

### 温暖化対策 パーフェクトクール

ヒートアイランド対策技術 遮熱性舗装

パーフェクトクールは、NIPPOが世界で初めて開発した遮熱性舗装です。舗装の表面に、赤外線を反射する遮熱コート層を設けることで、昼間の路面温度の上昇を抑制します。この技術は、ヒートアイランド対策として展開されるだけでなく、マラソンコースに採用されるなど、全国各地で求められている熱環境改善に役立っています。



### 大規模地震対策 HRB工法

アスファルト舗装の地震対策型段差抑制工法

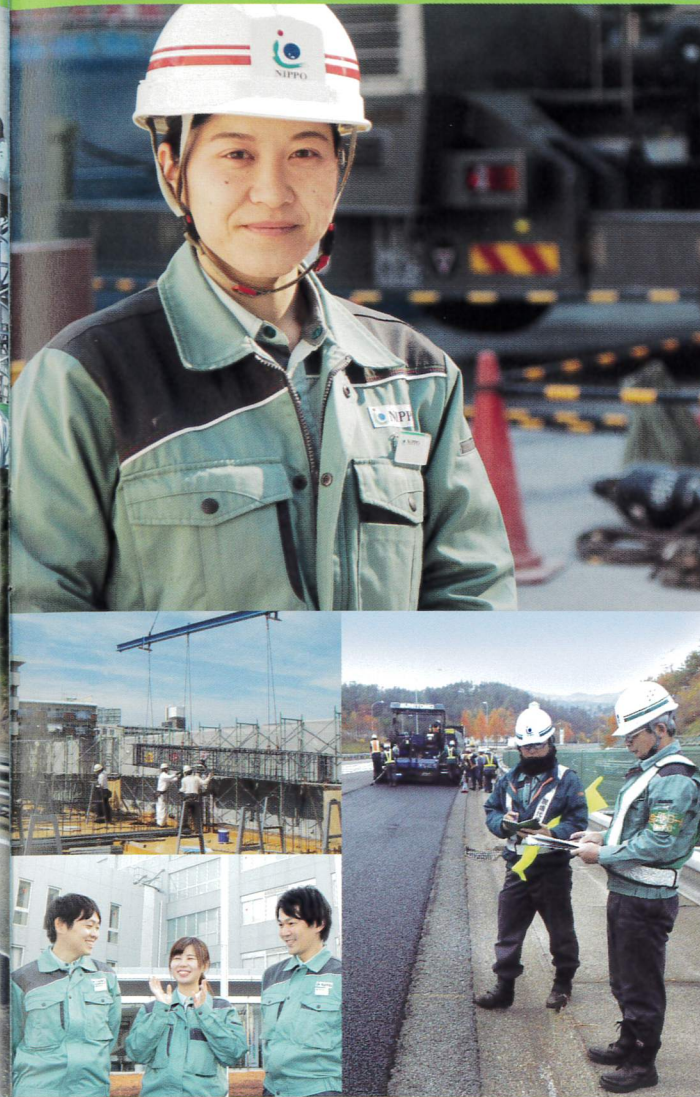
HRB工法は、地震によるアスファルト舗装路面の陥没や亀裂、段差の発生などを抑制する技術です。これにより、地震直後でも緊急車両などの通行を確保することができます。この工法は、大規模地震など、災害時における事業継続計画 (BCP) の施策として、緊急輸送路線や主要施設の構内道路などに適用されています。





## CSR活動

一人一人が社会の一員としての  
誇りと責任を持って



## マネジメントの取り組み Management

私たちNIPPOは、「確かなものづくりを通して、豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念を具現化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ることこそ、コーポレート・ガバナンスの基本と捉え、下記のような取り組みを行っています。

### CSR体制

NIPPOには、CSRを実現するために組織された6つの委員会があります。たとえば、企業風土の改革、社員の意識改革を推進している「CSR推進委員会」や、コンプライアンス体制の再整備・運用を推進している「コンプライアンス委員会」など。そうした組織を中心に、職場環境の整備や文化・教育支援、環境保全など、豊かな社会の実現に向けた、さまざまな活動を行っています。

- NIPPO・CSR委員会
- CSR推進委員会
- コンプライアンス委員会
- 安全衛生委員会
- 環境・品質保証委員会
- グループ会社CSR委員会

### CSRレポート

当社のCSRの取り組みの詳細は、毎年発行のCSRレポートをご覧ください。

NIPPO CSRレポート

検索



### 事業継続計画(BCP)

私たちは、震災発生時における社会的責任として、災害復旧の生命線である「道路を中心としたインフラ復旧」を積極的に支援しています。また、施工中の現場や、引渡し物件の早期復旧、取引先の事業再開に向けた支援なども行っています。

このような支援にあたっては、「非常災害対策規程」に基づき、まず、従業員と、その家族の安全を確認した後、会社施設の速やかな復旧・保全を図る、といった支援体制を早急に構築すべく、事業継続計画(BCP)を策定しています。

## 安全の取り組み Safety

舗装作業の安全を目的に開発され、第三者機関にも認められたWSシステム。その応用技術は、工場内で働く人の位置情報把握としても使われています。

### WSシステム(Worker Safety System)

WSシステムは、工事従事者から被害者も加害者も出さない、というコンセプトのもとに誕生した、安全対策システムです。道路舗装の現場やアスファルト合材工場で使用されている建設機械(タイヤローラー/ホイールローダ)が、人や物に近づいた際に、停止を補助するシステムとして開発され、現在、社内で活用されています。

このシステムは、「Safety2.0適合認証」され、2018年2月に全産業を通じ、第一号として登録されました。



WSシステム-WLの概念

## 環境の取り組み Environment

環境保全は、企業としての社会的責任であるという認識のもと、事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>や産業廃棄物の削減・リサイクルに向けた取り組みを、全社を挙げて行っています。

### SDGs\*に対するNIPPOの取り組み

NIPPOでは、生物多様性の保全・創出に貢献する土壌浄化事業や、工事施工時に生物多様性に配慮した計画(希少動植物の保全のための立ち入り禁止区域の設定、繁殖時期を考慮した工程)を策定するなど、持続可能な社会の実現に向けた、さまざまな取り組みを実施しています。近年実施した環境教育では、SDGsをテーマに取り上げ、従業員への周知と理解の促進を図りました。

\*SDGsとは  
2015年9月、国連において、全会一致で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」をいう。国連加盟国193カ国が、2030年までに達成を目指す17分野の目標と、より具体的な169のターゲットで構成されている。



環境勉強会

## 社会との関わり Society

すべての事業の基盤は、お客様が住む地域社会にあります。NIPPOでは、地域社会とのコミュニケーションの機会を大切に、災害復旧支援から、教育・スポーツ振興まで、さまざまな形で地域社会と関わっています。

### 災害復旧支援活動

私たちは、災害時におけるインフラ復旧などの重要な役割を、社会から期待されています。これまでに培ってきた土木技術と、全国の事業所網を活かして、自然災害が発生した際は、復旧支援体制を早急に整え、いち早く現場に駆けつけます。



熊本地震ボランティア活動

### スポーツ振興への取り組み

私たちは、「ツアー・オブ・ジャパン」「ツール・ド・北海道」「ジャパンカップ」などの自転車ロードレース競技への協賛と、「日本舗道レーシングチーム」を前身とする「チームNIPPO」への支援を行い、30年以上にわたって自転車競技の振興をお手伝いしています。



ジャパンカップ総合優勝

グループ  
ネットワーク

## 「確かなものづくり」を共に支える グループネットワーク

NIPPOは約200社のグループネットワークとともに  
豊かな社会の実現を目指します。

私たちNIPPOは、全国に約200社の舗装工事会社、アスファルト合材製造販売会社を展開し、お客様の多様なニーズにタイムリーに対応できるネットワークの構築を進めています。

社会を支える道路の整備や、生活に関連する施設の建設など、「豊かな社会の実現」に向け、NIPPOグループが一体となり、取り組んでいきます。

NIPPO  
GROUP NETWORK

工事会社 + 合材製造  
販売会社

約 **200** 社

### 主要関連会社

#### 大日本土木株式会社

〒500-8555 岐阜県岐阜市宇佐南1-3-11  
TEL.058-276-1111

[www.dnc.co.jp](http://www.dnc.co.jp)



バハルヨセフ ダハブ堰(エジプト)



警視庁八王子警察署(東京都)

#### 長谷川体育施設株式会社

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂1-4-21  
TEL.03-3422-5331

[www.hasetai.com](http://www.hasetai.com)



秩父宮ラグビー場(東京都)



博多の森陸上競技場(福岡県)

#### 日鋪建設株式会社

〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-11-3  
TEL.03-3418-1361

[www.nippokensetsu.co.jp](http://www.nippokensetsu.co.jp)



安倍川水系大ザレ溪流(静岡県)



新名神高速道路 鈴鹿PA スマートIC(三重県)



## もっと速く、さらに遠くへ

NIPPOは戦うアスリートたちを応援します。

株式会社NIPPOは、1987年に日本有数のロードレースチーム  
「チームNIPPO(旧 日本舗道)」を創部しました。

創部は、アジア大会で金メダルを獲得した円谷義広選手を迎えたことに始まり、  
全日本選手権制覇やオリンピック出場など、日本自転車競技の発展に大きく貢献してきました。

創部当初から国内の国際ロードレースに出場、  
これまでに個人総合優勝、団体総合優勝などの勝利を幾度となく収めています。

1990年代半ば以降は、活動の舞台を欧州へと広げ、  
外国人選手やスタッフを積極的に迎え入れ、グローバルなチーム運営を展開。  
世界基準の環境で競技力向上に取り組んできました。

現在は、日本人選手・スタッフを世界トップレベルへと導く育成プロジェクトに注力し、  
UCIプロチームやワールドチームへの支援を通じて、世界へ挑戦するための道を切り拓いています。  
常に時代に即した体制を追求しながら、世界でも稀有なコンセプトのもと、挑戦を続けています。

[www.nippo-c.co.jp](http://www.nippo-c.co.jp)

株式会社 NIPPO

〒104-8380 東京都中央区京橋 1-19-11

TEL.03-3563-6711 FAX.03-3567-7059